

グルファストを服用される患者さんへ

グルファスト錠	表 	裏 	または	表 	裏 
グルファストOD錠	表 	裏 	または	表 	裏 

食後の急激な血糖の上昇を抑え、血糖値を下げる糖尿病の薬が処方されています。
本薬の服用により低血糖症状を起こすことがあります。
以下の点にご注意ください。
また、この注意は、必ず家族やまわりの方にも知らせてください。

(1) この薬は食事の直前(食事前5分以内)にお飲みください。

- 食後の血糖の上昇に合わせてインスリンを出させる薬です。そのため、食事を始める直前(食事前5分以内)にお飲みください。
- 服用後は必ず食事をとってください(食事が遅れると**低血糖症状**を起こすことがあります)。

(2) 飲み忘れたときには

- もし食事前に飲み忘れたときには、その回の服用はさけてください。2回分を1度にまとめて服用したり、空腹時にお飲みにならないでください。**低血糖症状**を起こすことがあります。

(3) 低血糖症状を起こすことがあります。

- この薬を服用した場合に、低血糖症状を起こすことがあります。
- 低血糖症状が起こった場合は、**がまんせずに早めに糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとってください。**
ただし、^{アルファ}**α-グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)**などの糖分の吸収を遅らせる薬剤を併用している場合には、**必ずブドウ糖**をお飲みください。
- 高所作業や自動車の運転などの危険を伴う機械を操作している時に、低血糖症状を起こすと事故につながるおそれがあります。特に注意してください。(裏面もご覧ください。)

低血糖症状について

● 低血糖症状とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態(主に空腹時、夜間)で、異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。症状が重い場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。

脱力感・異常な空腹感



冷汗・動悸



手足のふるえ



めまい
頭が重い・
頭痛・



意識を失う

● 低血糖症状が起こったら

- 低血糖症状がもし起こったら、落ちついてすぐに**糖分(砂糖、ブドウ糖など)**をとり、安静にしてください。日頃、ポケットやバッグの中など、常に糖分を持ち歩き、すぐその場で糖分をとれるようにしておくことが必要です。
なお、 α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)を服用している場合は、ブドウ糖をとってください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。

● 低血糖症状を起こさないために

- 低血糖を予防するためには、薬の量や飲み方は主治医の指導を守り、また食事療法・運動療法はきちんと守ることが大切です。
- 食事をとる時間の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。